

●フルデジタルメーター(2)

タコメーター表示パターン

タコメーターは、外側と内側2列に分けたセグメント表示とし、よりライダーの嗜好に合ったエンジン回転数表示を選択可能としました。以下4種類の表示パターンを任意設定できます。メーター左に配置したセレクトスイッチを押しながらイグニッションONで、液晶部が設定画面に移行します。

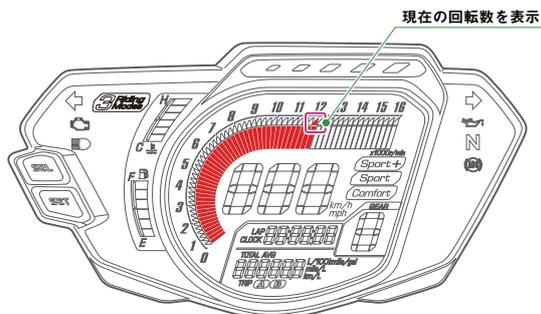
パターンA： 外側セグメントに現在のエンジン回転数のピンポイント点灯を追加表示(標準の表示)

パターンB： 外内両セグメントともに従来のタコメーター同様の表示(フル表示)

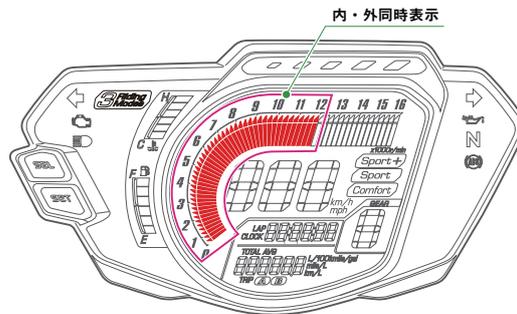
パターンC： 外側セグメントにREVインジケータ(後述)で設定したシフト回転数を追加表示(シフトアップ表示)

パターンD： 外側セグメントに走行中の最高回転数を0.7秒間追加表示(ピークホールド表示)

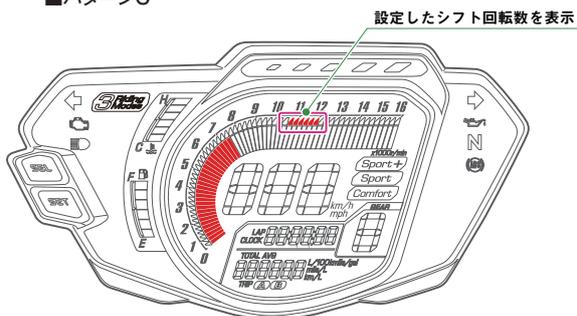
■パターンA



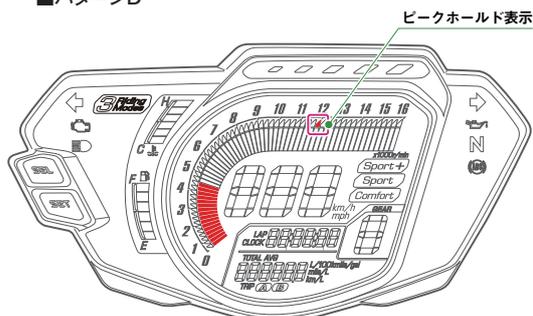
■パターンB



■パターンC



■パターンD



※図版は全てCBR250RR(ABS)

REVインジケータ

CBR250RRでは5連REVインジケータを採用。特に車体コントロールそのものに集中したいサーキット走行時など、ライダーはメーターを注視することなく、設定したシフトタイミングをLEDの点灯と点滅によって知ることができます。

メーター上部部に配置されたREVインジケータは5個のLEDで構成され、エンジン回転数に応じて点灯数が1～5個へと変化、設定したエンジン回転数に達すると5個全てのLEDが点滅します。

LEDが点灯点滅するエンジン回転数はライディングモードごとに任意設定可能です。メーター左に配置したハードキースイッチで、点滅を開始する回転数の設定と点灯輝度、および点灯間隔(0、250、500各回転ごと)の選択を行います。